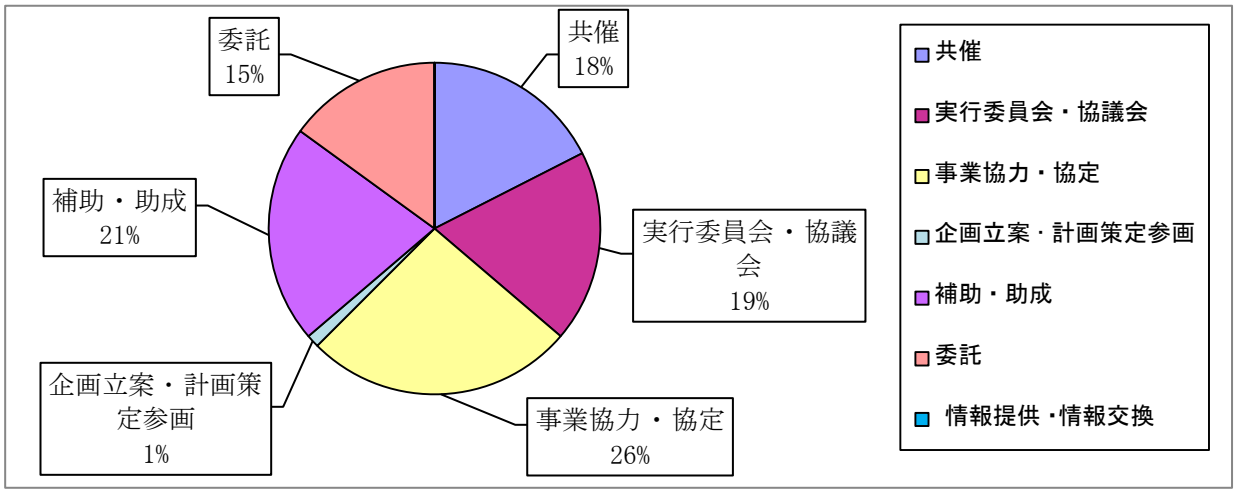
沼田市の市民協働事業（平成27年度）

1　協働事業の状況

平成27年度 協働事業の手法別の状況です。

区分	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	企画立案・計画策定参画	補助・助成	委託	情報提供・情報交換	計
事業数	14	15	21	1	17	12	0	80
割合	18%	19%	26%	1%	21%	15%	0%	100%



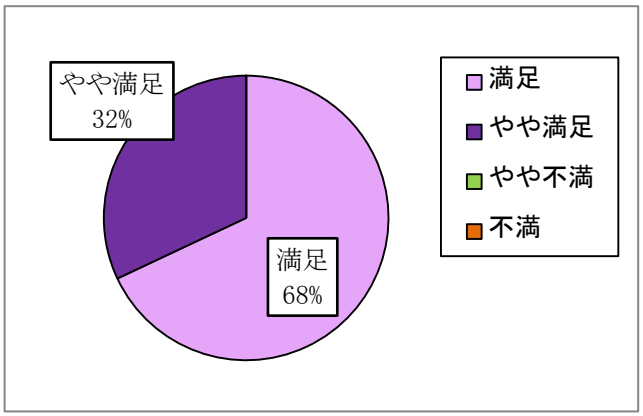
2　協働事業の評価結果

今回実施した調査では、協働という視点で事業を捉えて、各事業の評価・点検を行いました。

その評価結果（満足度）については、次のとおりでした。

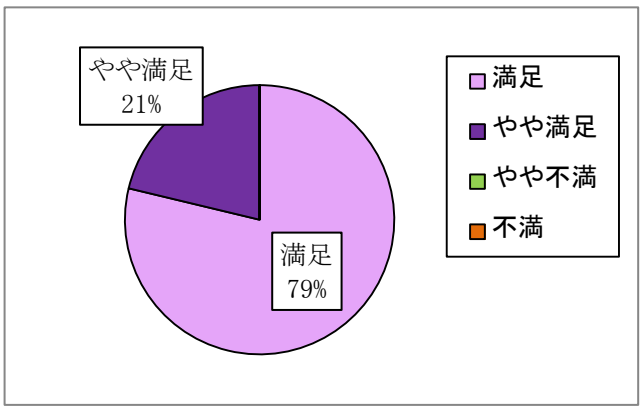
○市の担当者の満足度

区分	事業数	割合
満足	54	68%
やや満足	26	32%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	80	100%



○協働のパートナーの満足度

区分	事業数	割合
満足	63	79%
やや満足	17	21%
やや不満	0	0%
不満	0	0%
計	80	100%

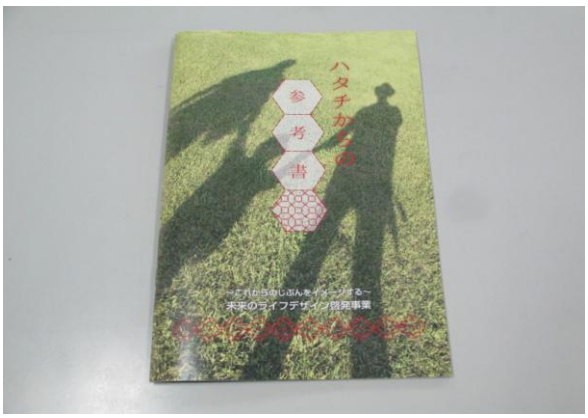


３ 平成27年度の事業より紹介

平成27年度に協働事業として取り組んだ事業から、手法別に2事業を紹介します。

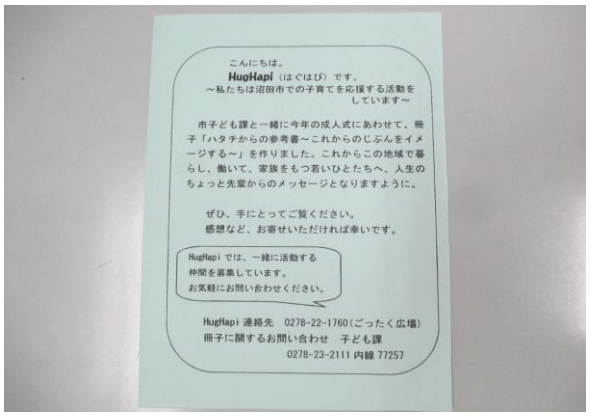
No.	担当課	事業名	手法別	パートナー	事業内容
22	子ども課	未来のライフデザイン啓発リーフレット作成事業	事業協力・協定	Hug Hapi（はぐはぴ）	未来のライフデザイン啓発リーフレット「ハタチからの参考書」の作成
72	社会教育課	池田地区文化祭	共催	池田地区振興協議会、池田公民館各教養教室	文化祭の開催

No.22 未来のライフデザイン啓発リーフレット作成事業



作成リーフレット「ハタチからの参考書」

「ハタチの疑問」



こんにちは。
HugHapi（はぐはぴ）です。
～私たちは沼田市での子育てを応援する活動をしています～

市子ども課と一緒に今年の成人式にあわせて、冊子「ハタチからの参考書～これからのじぶんをイメージする～」を作りました。これからこの地域で暮らし、働いて、家族をもつ若いひとたちへ、人生のちょっと先輩からのメッセージとなりますように。

ぜひ、手にとってご覧ください。
感想など、お寄せいただければ幸いです。

HugHapi では、一緒に活動する仲間を募集しています。
お気軽にお問い合わせください。

HugHapi 連絡先　0278-22-1760（ごったく広場）
冊子に関するお問い合わせ　子ども課
0278-23-2111 内線 77257

「Hug Hapi（はぐはぴ）の紹介」

No.72 池田地区文化祭

「池田幼稚園児の木工作品」

「出展作品（生け花）」

「出展作品（書道ほか）」

4 平成27年度 沼田市協働事業一覧

	担当課	事　業　名	手法別	協働のパートナー（記入団体）	事業内容	事業の成果・課題・改善策、改善点など	
						担当課	パートナー
1	防災対策課	防火・防災事業	補助・助成	沼田市八職工防火協力会	歳末特別警戒・出初式・災害時の消防機関への協力	当該団体が行う歳末特別警戒は、消防団が行う歳末特別警戒とともに年末の恒例の事業として市民に深く認識されている。今後においても、ともに実施していきたい。	特記事項はなし
2	企画課	沼田市国際交流協会事業	補助・助成	沼田市国際交流協会	国際都市交流及び親善に関すること 国際交流の啓発と普及 国際交流に関する調査研究	市内に在住する外国人向けの日本語教室、交流の場としての玉原ハイキング及び交流パーティを開催し、多文化共生社会の実現に向けて取り組んだ。	市内に在住する450人を超える外国人が市民とともに楽しく暮らせる多文化共生社会の実現に向け、各種事業を実施した。
3	企画課	準市民交流事業	実行委員会・協議会	沼田市準市民交流会実行委員会	市民参加の事業運営を図るため、各種団体の代表者で構成する実行委員会を設置し、交流会を開催する。	交流会参加者数は、実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの、内容的には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果を上げている。	交流会参加者数は、実施曜日などの要因により多少の増減はあるものの、内容的には好評で、準市民と市民との親交が深まるなど一定の成果を上げている。
4	白沢支所	白沢ふるさとまつり	実行委員会・協議会	白沢ふるさとまつり実行委員会	地域に根ざした伝統行事であり、白沢地域の振興を図るとともに、住民相互のつながりや来訪者との交流を促進する。	地域に根ざした伝統行事として幅広い世代の人の参加と、たくさんの人の来場により、住民相互の交流はもとより、地域の振興のために大きな役割を果たしている。今後も継続が必要である。	白沢町において、各地区の夏祭りと日を同じくして開催する一大行事として幅広く親しまれている。地域の活性化、住民相互の親睦と交流推進等のため、今後も継続して開催していきたい。
5	白沢支所	白沢町盆踊り大会	実行委員会・協議会	白沢町盆踊り大会実行委員会	伝統行事である盆踊りを継承し、親睦と交流の場とする。	地域に根ざした伝統行事として、住民相互の交流や地域の振興のために大きな役割を果たしている。今後も継続が必要である。	白沢町における伝統行事であり、また、後継者の育成も重要であることから、今後も継続して開催していきたい。
6	利根支所	吹割の滝開き・無事故安全祈願祭	事業協力・協定	利根町観光協会	シーズンの開幕を祝い、無事故を祈願する。	吹割の滝観光協会会員の高齢化が進んでいるので、後継者の確保を図る必要がある。 （改善点など）吹割の滝観光協会関係者の事業に対する自主性・自立性が現れてきた。	特記事項はなし
7	利根支所	とねふるさと風のまつり	事業協力・協定	とねふるさと風のまつり実行委員会（利根町観光協会）	地域住民参加型の手づくりイベントの開催により地域の活性化と観光振興の一助とする。	各種団体の運営協力者の殆どが確定している。事業運営に必要となる人員確保についてはそれぞれの団体に責任を持っていただいているが、充分たりているところと不足しているところが見られる。今後も、事業をするため関係団体との連携の強化が必要である。 （改善点など）各団体が協力する準備及び開催時間等の短縮が図られた。	以前から利根町地域全体の祭りとして実施していると働きかけてはいるが、地域からの参加はない。今後も利根町全体のイベントだと感じられる内容となるように改善をしていきたい。
8	利根支所	老神温泉そば祭り	事業協力・協定	老神温泉そば祭り実行委員会（利根町観光協会）	奥利根高原そばをもとに滝と温泉を結びつけた新たな観光の創出と地域の活性化を図る。	一般市民・観光客との交流が図られているが、農業・商業・観光との連携とともに、イベントの運営に関わりながら更なる老神温泉地域の活性化が図られることを目指す。 （改善点など）計画段階から実行委員会から出される意見の検討がなされ、運営についても自主性・自立性が現れてきた。	平成27年度も第11回として実施したが、いろんな面でボランティアが必要との意見が出されたので、次回は検討したい。 （改善点など）ここ最近は、ポスター・チラシの原稿作成を実行委員自ら行うようになり、開催チラシの配布についても、実行委員により区分けするようになり、区長を通じた配布で経費が軽減されている。

9	利根支所	老神温泉赤城神社節分祭	補助・助成	老神温泉観光協会	赤城神社での節分祭を開催し、厄払いと観光振興、集客を図る。	老神温泉観光協会のさらなる組織力の強化。節分祭当日夜のミニ花火大会により観光入り込み客の増加が見込める。 （改善点など）観光協会が自主的に事業を進めている。	特記事項はなし
10	生活課	沼田市地区交通安全会連合会活動事業	補助・助成	沼田市地区交通安全会連合会	交通安全運動の推進・普及徹底及び交通指導	各地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。	・各地区交通安全会が連携し、交通安全運動等に取り組むことにより、交通安全への啓発や、交通事故防止に寄与している。 ・各地区交通安全会との情報交換を今まで以上に行っていきたい。
11	生活課	タフティクラブ活動事業	補助・助成	タフティクラブ	幼児と母親の交通安全教育や研修の実施	クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園や幼稚園のみならず、市外での交通安全教室を実施する等、子供たちの交通安全教育に大きく貢献している。また、交通安全教室で利用している着ぐるみが破損したため、新たな着ぐるみを購入し、交通安全教室内容の改善と事業の継続を図った。	・クラブ員の経験や技能を生かし、市内の保育園や幼稚園のみならず、市外での交通安全教室を実施する等、子供たちの交通安全教育に大きく貢献している。 ・会員数（現在：8名）が少ない。 ・会員の高齢化が、今後、懸念される。
12	生活課	沼田市くらしの会活動事業	補助・助成	沼田市くらしの会	3R運動や各種講習会開催など、賢い消費者を目指す。	・有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの取組等を行い、消費生活のみならず、広く環境対策等にも取り組んでいる。 （改善点など）多くの会員に参加してもらえるよう、引き続き、日頃から活動以外でも集まる機会をつくり、意見交換をしたり、活動に参加しやすい雰囲気をつくるようにしている。	・有価物回収やゴミ問題、グリーンカーテンの取組等を行い、消費生活のみならず、広く環境対策等にも取り組んでいる。 ・各種女性団体は、それぞれ特色のある活動を行っているので、連合（連絡協議会）のような組織をつくるのは無理かもしれませんが、事業の目的は1つなので協力しあって横の連絡は取れないものかといつも感じています。循環型社会の構築を目指して活動に取り組んでいるくらしの会も老齢化で先細りの感が強いので若い人の入会を希望しております。
13	生活課	市民協働によるまちづくり事業補助金	補助・助成	市民活動団体、地域コミュニティ代表者など （上南百年神輿愛好会）	地域の活性化や問題解決に向けた活動への助成。 事業審査は市民が行 う。	・27年度は4団体が、実現性を高め魅力ある地域づくりを実践した。 ・事業実施報告会を開催し、4団体がそれぞれの事業実施内容について報告した。そのことが、実際の実施例として今後の事業実施を考えている団体等へ繋がっていく。 （改善点など）4月1日から事業実施が出来るよう、平成28年度補助金については、28年2～3月に募集をし、3月中に審査会を開催し採択した。	・今までは地区の行事として開催していたが、愛好会として開催したことにより、若者の参加が多く、地元離れしている若者にもう一度Uターンを促すきっかけ作りになった。その一方で、高齢の世帯主などの義務での参加がなくなったため、気楽に楽しんで参加してくれる方が多かった。結果として、育成会の子どもたちから、和光会(老人会)のお年寄りまで、多くの方に楽しんでいただき、それにより、地区の良さを再認識してもらうことができた。地域活性化の大前提には、住民が地域を好きでなければならず、その基本を大切にした活動を実施でき、その成果は大きかったと認識している。 ・今年は、復活を広くPRするため、本来の祇園祭の開催方法から離れ、イベント要素を多く入れた祭として成果を得たが、来年は、本来の祇園祭の要素を増やし、地域の貴さを伝えていけるような事業にしていきたい。

14	生活課	市民活動センター管理運営事業	企画立案・参画	市民活動センター運営委員会	市民活動センターの円滑な運営について検討する。	市民活動センターの事業計画などについての意見を聞き、事業実施に反映することができた。	自分たちの活動を行うのが精一杯であり、多くの団体を横断的に見て運営できる人材が少なく、公設民営を目指してはいるが現実は難しい
15	生活課	男女共同参画推進事業(セミナー開催、計画の推進)	共催	北毛地域人権啓発ネットワーク協議会、大学准教授、一般市民等 (北毛地域人権啓発ネットワーク協議会)	セミナー開催により、市民の意識啓発を図る。企画の段階から市民参加で検討する。	パートナーが講演会の参集をして成果があったが、まだまだ参加者が少ないので、更に工夫が必要である。	毎年セミナー参加者から企画実行委員を募り、一昨年、昨年と徐々に新しいメンバーが増えていることは、大変良いと思う。
						(改善点など)パートナーと企画を検討した結果、講座内容について、参加者が聞くだけの講座から、参加者が主体的に調査、検討し事業プランを提案する実践講座とした。	(改善点など)講座内容について、参加者が聞くだけの講座から、参加者が主体的に調査、検討し事業プランを提案する実践講座とした。
16	環境課	環境啓発事業(環境フォーラムぬまた等)	委託	ぬまた環境ネット	ぬまた環境ネットの運営と環境啓発事業(環境フォーラムぬまた)の開催	・毎年行っているが、入場者が少しでも増えるような工夫を考えたい。 ・牛乳パックとトイレットペーパーの交換は、概ね午前中で予定数量になってしまうことから、交換できるトイレットペーパーの数量を少なくしてなるべく多くの市民の方に対応できるよう検討した。 ・初めて映像上映会を行ったが、午後の部には子ども達が多く集まり好評であった。	年度当初に計画した事業については、滞りなく実施することができた。 《今後の課題》 ①「環境フォーラムぬまた」のメインイベントとして、これまで講演会やエコサイエンスショー、講演ライブ、環境映像鑑賞会を開催してきた。しかし、満足するような来場者をお迎えするには至らなかった。一人でも多くの市民の方々に参加していただくための方策を見いだすことが最大の課題である。次回は10回目を迎えるので、市民の印象に残るイベントとなるよう今から検討してまいりたい。 ②当会では年1回「ぬまた環境ネットだより」を発行し、市内全戸に回覧している。編集委員会が企画・取材・執筆に当たっているが、今後は原稿の執筆については、加入団体や一般市民、学童からも寄稿していただくように検討してみたい。(市民参加型) ③「第二次沼田市環境基本計画」(平成27年3月策定)について、当ネット加盟団体として、同計画の実現に向けて何ができるのか、アンケート調査を行った。これに基づき、それぞれの加盟団体が持てる知識や行動力を発揮し、日々具体的な取り組みを行っている。
						(改善点など)・牛乳パックとトイレットペーパー交換は来場された全員に対応ができたが、結果としてトイレットペーパーは余ってしまった。	(改善点など)前年度一定の成果をあげた「古着・古布の回収」を行い、リサイクル、断捨離・ごみの減量化に結びつけた。

17	環境課	環境啓発事業（ブナ幼木移植）	事業協力・協定	ぬまた環境ネット（利根沼田自然を愛する会）	玉原高原の再生のためケヤマハンノキ林にブナ幼木を移植	・市の環境基本計画でも自然環境の保全を掲げており、今後も同会との連携を強化する必要がある。 ・今回の環境啓発活動以外にも協働で進められる取り組みを考える。 ・例年、市民の参加が少ないことから「ホットメールぬまた」の活用、他の環境啓発事業への過去の参加者などに通知を出すなど更なる周知方法の検討が必要である。また、ぬまた環境ネットの会議実施時に他団体への参加を呼びかけたい。 （改善点など）例年以上の周知を行ったが、参加者は少なかった。	・市民の参加がまだ不十分であるが、参加者数は増加傾向で輪の広がりはある。 ・作業後の経年結果等の記録をしているので、毎年その結果を公表することにより、今後の事業発展・啓発効果を図れる。 （改善点など）・市民の他に、県民にも広報で知らせる工夫をした。 ・今回は幾つかのメディアの取材もあった。
18	環境課	春・秋の市内一斉清掃	共催	沼田市環境保健協議会	道路愛護運動と同時に道路・河川・公園等の清掃作業を実施する。	一斉清掃・道路愛護運動を実施した結果、ポイ捨てごみを中心に、タイヤなど不法投棄された廃棄物の清掃も同時に実施され、周辺環境の美化が図られた。 また、多くの市民の参加が得られ、住民の環境美化に対する意識の向上が図られた。今後も、より多くの市民に参加していただけるよう沼田市環境保健協議会と協力しながら働きかけていきたい。 （改善点など）昨年同様、多くの市民に参加いただいた。	いずれの町（支部）も熱心に一斉清掃・道路愛護に取り組んでいただいたと思う。 今後もより多くの市民の方に参加していただけるよう、環境保健協議会の会議等において各町の支部長に協力をお願いしていきたい。
19	環境課	有価物集団回収事業	補助・助成	東倉内町リサイクル運動協議会外５１団体（NPO法人あおぞら会）	再生可能な資源の回収を集団回収事業により実施	２５年度の集団回収事業登録団体は52団体、延べ293回実施され、紙・缶・びん等の再生可能な資源が743t回収された。昨年と同様、より多くの団体が参加してもらえるよう、周知していきたい。 （改善点など）登録団体数及び実施回数は昨年とほぼ同様の結果であったが回収量が減少した。引き続き登録団体加入への周知と実施回数、回収量増加への周知を図りたい。	地域住民および関係者の方々に協力していただき、奨励金を作業所の運営費に充てることができた。引き続き、集団回収事業を実施していきたい。 （改善点など）回収量を増加できるよう、地域の方々へ、より一層周知を行っていきたい。
20	子ども課	親子ふれあい交流事業	事業協力・協定	沼田市母子会	ひとり親家庭の親子のレクリェーション等の実施	事業の中心となる母子会会員の減少により、事業運営に関わる人材の確保が難しくなっている。今後は、事業の実施方法等について検討していく必要がある。 （改善点など）母子会役員の声かけにより、若年母子家庭の会員は若干増加したが、事業運営に関わる人材の確保の実現は難しい状況である。	企画の中心となる母子会会員の減少が進んでいるが、今年度は規模の大きいレクリエーションを実施した。参加者に喜んでもらえているので今後も続けていきたい。 （改善点など）より多くの人に参加してもらうため、該当する家庭へ声かけを行った。また、参加者からの意見を事業内容に反映することができた。

21	子ども課	沼田市子育て支援ネットワーク事業	事業協力・協定	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会	子育て支援団体等ネットワーク事業の実施	子育て支援団体等のネットワーク構築により子育て家庭のニーズ把握が可能となり、ニーズの高い地域子育て支援拠点事業「子ども広場」を開設し支援を進めることができた。（地域子育て支援拠点事業＝市委託事業。ネットワーク推進協議会の参加団体である「NPO法人利根沼田地域ボランティアセンター」が受託。） （改善点など）各団体及び市との情報共有や意見交換など、お互いに顔の見える連携が取れるようになっている。	沼田市子育て支援ネットワーク事業を受けて、平成25年度から沼田市より地域子育て支援拠点事業を委託され（NPO法人利根沼田地域ボランティアセンターとして）、沼田市保健福祉センター3階の子ども広場で、月曜日から金曜日までの10時から15時まで二人のスタッフを常時おけるようになった。協働モデル事業の時には月曜日だけのプログラムを各団体が受け持ったが、常時スタッフがいられるようになったため、利用も相談も格段に増え、子育て支援により大きな役割を果たせるようになったと思う。沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会が事業を主導しているので、2～3ヵ月に一度会議を持ち、報告をし、提案をいただいている。30代から60代までの経験豊かなスタッフ8人が連携を取りながら、記録も丁寧に残し、順調に事業が進んでいる。利用者が多いため、長期休みのときに大ホールが借りられるときには借りたり、行政の側でも対策を考えていただいている。 （改善点など）定期的にネットワークの会議を実施しながら、担当の係とは緊密に連絡を取り合い、連携をより密にすることが出来た。子ども広場を利用している気になる親子については、子ども課と家庭児童相談室と連絡を取り合い、情報交換をしながら見守っている。
22	子ども課	未来のライフデザイン啓発リーフレット作成事業	事業協力・協定	Hug Hapi（はぐはぴ）	未来のライフデザイン啓発リーフレット「ハタチからの参考書」の作成	沼田市子育て支援ネットワーク推進協議会の参加団体であるHug Hapiが事業協力を行ったことにより、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された、思わず手にとって読みたくなるような啓発リーフレットが完成した。引き続き同団体との協働により、内容・デザイン等の見直しを行い、より良いものを作成していきたい。	市との役割分担を明確にし、企画・編集についてはパートナーの裁量により作業を進めることができたため、地域の若い世代や子育て世代の等身大の姿が反映された、思わず手にとって読みたくなるような啓発リーフレットを作成することができた。引き続き市との協働により、内容・デザイン等の見直しを行い、より良いものを作成していきたい。
23	高齢福祉課	市民敬老号事業	事業協力・協定	沼田市老人クラブ連合会	高齢者の親睦と社会見聞を広めるため、2泊3日の県外旅行を実施	老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行先等を検討し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布するなどにより、多くの高齢者に参加を促している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間達とともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たせている状況である。 （改善点など）今後も、高齢者の安全性や利便性を最優先に考え、毎年参加していただけるようにあらゆる視点から配慮したい。	老人クラブ連合会が中心となり、高齢者向けの研修旅行を企画し、募集においてはクラブの役員がチラシを配布することから、たくさんの高齢者の方が参加している。毎年参加を楽しみにしている高齢者が多く、大勢の仲間達とともに親睦を深めながら社会見聞が広められ、事業の目的が十分果たせている。今後は、もう少し老人クラブ会員の参加者を増やしていくことを考えたい。 （改善点など）今後も、企画会社選定にあたっては、安全性・信頼性などを重要視していきたい。

24	高齢福祉課	老人クラブ助成事業	補助・助成	沼田市老人クラブ連合会	単位老人クラブに1年間の活動費の助成として、補助金を交付している。	老人クラブは、地域高齢者全体を視野に入れた健康づくりや介護予防活動、友愛訪問などの地域支え合い活動等に取り組んでおり、地域社会の重要な担い手として無くてはならない存在である。 しかし、全国的に各町のクラブ数、会員数とも減少しており、その流れに歯止めをかけていくことが今後の課題である。 （改善点など）各単位クラブ会長が事務書類提出等に負担にならないよう心掛けた。	今後の課題としては、クラブ数、会員数とも減少しており歯止めをかけていくことである。 （改善点など）事業計画における基本方針でクラブ数、会員数の減少に対して一丸となって取り組むことを理事会、総会で再確認した。
25	高齢福祉課	高齢者筋力向上トレーニング事業	事業協力・協定	老人クラブ、ふれあいいきいきサロン他 （老人クラブ）	暮らしに役立つ筋力向上トレーニングを実施しながら仲間づくりを行う。	老人クラブは、地域高齢者の中核的な組織であることから、事業推進の基幹となっているが、近年老人クラブ加入者の減少、老人クラブ自体が解散している地区もあり、組織率の向上が課題となっている。また、地域での住民組織（区長、民生委員、保健推進員など）と連携を深めることにより、地域に密着した活動が期待できる。養成から1年が経過した地区リーダー（福ろう体操すすめ隊）がそれぞれの地区の団体に出向いて継続支援を実施してくれるよう期待している。 （改善点など）ユーチューブにアップした筋トレ団体の紹介を教室やイベントで紹介するなど、普及啓発と参加者の意欲向上につなげることができた。機会あるごとに参加の呼びかけを継続した結果団体数も増加した。今後も地区筋トレの維持を支援していきたい。	老人クラブ会員が事業推進の中心となっているが、より多くの人の参加が望まれる。筋トレ活動に参加している人で老人クラブ未加入の人にも加入を呼びかけるなどして筋トレ団体と老人クラブの双方の維持増強に努めたい。他の関係団体（地区サロンや公民館の教室参加者等）の協力も求めたい。また、筋トレ大会での表彰が会員の継続の意欲向上につながっていると思われる。 （改善点など）より多くの人に参加してもらうために、会員同士の誘い合いをしてもらうよう役員会などで呼びかけた。仲間意識が高まり、より地域に密着した活動ができるよう、今後も筋トレ事業を継続していきたい。
26	健康課	地区健康教室	共催	沼田市保健推進員会	地域で健康教室を開催し、こころの健康及び生活習慣病予防等の正しい知識の普及を図る。	・回覧等で周知を行っているが、身近な保健推進員の声かけが参加者を増やすことにつながっている。地域づくりの一環としても保健推進員の声かけは効果的である。地区により、教室開催等のばらつきがあるため、多くの地区で開催できるように区とも連携をとり開催していきたい。 ・地区ウォーキング教室は、推進員が考えたコースを下見して決定している。ウォーキングは男性の参加も多く好評である。 ＊沼田市のホームページにウォーキングマップをアップしたので、住民に広めて活用していきたい。 ・保健推進員会理事会（年4回）にて、計画や報告など情報交換を行い、ニーズにあった事業を取り入れていく事が必要である。 （改善点など）・健康教室、地区ウォーキング教室を開催していない地区に、開催にむけての話し合いを持つよう働きかけた。	・地区健康教室は、保健推進員が、担当保健師と地区役員との連絡調整を図り、内容についても検討し、多くの住民の方に参加してもらうよう働きかけている。また、地区（地域）の行事等に、協力して開催出来るよう計画する。 ・健康講座や講演会、講習会などにできるだけ参加し、健康に関する知識を住民の方に広めていく。 ・地区ウォーキング教室開催時、作成したウォーキングマップを地域の方に活用してもらえるよう広めていく。 （改善点など）地区ウォーキング教室や健康教室を継続して開催できた。

27	産業振興課	沼田まつり	実行委員会・協議会	沼田まつり実行委員会	各部会を設置し,各種団体の協力を得て沼田まつりを開催する。	平成27年度の入込数は、23万人であった。	平成27年度の入込数は、23万人であった。
28	産業振興課	新規学卒就職者激励親睦のつどい	共催	沼田地区労働教育委員会	利根沼田地区の事業所に就職した若者の激励と親睦を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
29	産業振興課	利根沼田勤労者ソフトボール大会	共催	沼田地区労働教育委員会・沼田市ソフトボール協会（沼田地区労働教育委員会）	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、ソフトボール大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
30	産業振興課	利根沼田勤労者卓球大会	共催	沼田地区労働教育委員会・利根沼田卓球協会（沼田地区労働教育委員会）	勤労者の体力づくりと親睦を図るため、卓球大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
31	産業振興課	新規学卒就職者研修会	共催	沼田地区労働教育委員会	新規就職者を対象に社会人の自覚を促し、勤労意欲の向上を図るために研修会を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
32	産業振興課	利根沼田勤労者美術展	共催	沼田地区労働教育委員会	勤労者の相互理解、勤労意欲の向上等のために美術展を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
33	産業振興課	児童木工工作大会	補助・助成	沼田木材組合	子どもたちに木のぬくもりと有益性を認識してもらうため、木工工作大会を行う。	特記事項はなし	特記事項はなし
34	産業振興課	ニュー木工工作広場	補助・助成	利根沼田建築相互組合	地元産木材のPR及び住民交流等のために木工工作広場を開催する。	特記事項はなし	特記事項はなし
35	農林課	沼田市農業まつり	実行委員会・協議会	沼田市農業まつり運営委員会（利根沼田農業協同組合）	農産物直売、抽選会など多彩なイベントにより農業のアピールと交流	・沼田市、利根沼田農業協同組合、沼田市農業委員会が共催となり、多くの農業関係者の協力を得て開催していることから、農業関係者間の交流を図るとともに、安心安全な農産物の提供を通して、来場される消費者との交流も図られている。 ・事業費の節減に努めるほか、提供品の有料化、出店料等についての検討が必要である。 （改善点など）経費節減の検討は引き続き行う必要がある。	農家と消費者の交流が図られ、農家の育てた安心・安全な農作物を直接消費者に販売し、地産・地消運動の実践ができ、農家への理解と信頼を深めることができた。
36	農林課	認定農業者協議会活動支援事業	補助・助成	沼田市認定農業者協議会	認定農業者協議会活動費補助	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も259名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。	平成22年4月12日に沼田、白沢、利根の各協議会が合併し、新たな「沼田市認定農業者協議会」がスタートした。会員数も255名と多くの会員をかかえ、認定農業者が経営改善や規模拡大に取り組めるよう情報を共有できる組織運営が必要となる。

37	農林課	生活研究グループ活動支援事業	補助・助成	沼田市生活研究グループ	生活研究グループ活動費補助	各種イベントを通じて、地場産農産物を利用した料理や郷土料理などを試作・発表するとともに、食育についても率先して事業計画を練り、都市住民、地域住民、子どもたちの農産物の食への関心が高まりに効果をあげている。	各種イベントに参加することにより、世代間の交流や多くの参加者と触れあうことができた。
38	農林課	地域農政推進委員会支援事業	補助・助成	沼田ほか4地区地域農政推進委員会（沼田地区）	地域農政推進委員会補助	今後も、農業振興に対する意見聴取や情報交換等を行い、組織として情報を共有し検討していく必要がある。 （改善点など）地域の特色を活かした,新たな取り組みを始めた。	今後も行政と一体となり、情報交換等により情報を共有しながら事業に取り組む必要がある。
39	農林課	森林づくりボランティア推進事業	事業協力・協定	ボランティア希望者（森林づくりボランティア事務局）	ボランティア登録者による森林整備	近年は、環境問題への関心の高まりとともに、ボランティア活動を行う機会も増えてきている。そのような状況下で有意義な森林整備ができた。 今後は、ボランティアの方が参加しやすい方法や作業中の怪我に備えた保険加入など、関心のある方が安心して参加できる体制の整備が必要となる。	今回は参加できたが、今後も無理のないように参加したい。
40	農林課	みどりの小径整備事業	事業協力・協定	地元住民（高橋場町商工会）	地元主体の遊歩道の維持管理	地元要望に基づき整備し、地元において維持管理することで事業を実施してきたが、地域ごとの意識の違い等により、現在の維持管理においては違いが出ている。	特記事項はなし
41	観光交流課	交流居住促進事業	実行委員会・協議会	沼田市交流居住促進協議会	都市部との交流事業の促進・移住希望者等受け入れの環境整備等	都市間交流については、災害や環境に関する協定を結んでいる新宿区や板橋区、港区などとの交流は年々幅を広げており、徐々に根付いてきている。移住・定住についても移住相談会や移住セミナーに積極的に参加し、移住者の実態把握や他市の取り組み等、情報収集を行っているが、市での受け入れ体制が不十分であり、今後の課題である。 （改善点など）移住・定住について移住相談会や移住セミナーに積極的に参加し、移住者の実態把握、他市の取り組み等の情報収集を行っている。	移住・定住についての施策を効果的に実施していく中で、本市の状況だけでなく、他市の状況や全国的な移住者の実態等を市と協議会で共有していく必要があるのではないか。
42	観光交流課	沼田市産業展示即売会	実行委員会・協議会	沼田地区地場産業振興協会	本市地場産品の総合展示・即売、各種催事の実施	1日目が雨であったため来場者数は前年度を下回ったが、会場を沼田公園野球グランドに移し4回目の開催であり知名度も上がり出展業者・団体数は前年を上回る結果となった。 開催にあたり、ボランティアスタッフ（企業・市民）の協力もあり、市民と協同して運営することが出来た。	市との協働により事前PR等の情報発信ができ多くの方に来場いただいた。 イベントについては、毎年固定化されているため新たなイベントの検討が必要である。
43	観光交流課	観光ボランティアガイド	事業協力・協定	沼田市観光協会	観光ボランティアガイドの募集、育成講座の開催など	観光ガイドの活用も増加していることから、さらなる人材確保と養成が急務である。	観光ガイドの依頼が増加しているが、会員の高齢化が進んでいる中、新規会員の増員が急務である。

44	観光交流課	沼田市観光協会事業	補助・助成	沼田市観光協会	観光農園、飲食店等の紹介やキャンペーンの実施	本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体とも情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図る。 （改善点など）キャンペーンの時期、場所等において、より効果的に実施できるよう検討した。	本市の情報だけにとどまらず、周辺自治体とも情報を共有することで、地域に訪れる観光客の利便性のさらなる向上を図る。 （改善点など）キャンペーンの時期、場所等において、より効果的に実施できるよう検討した。
45	観光交流課	白沢農産物収穫感謝祭	実行委員会・協議会	白沢農産物収穫感謝祭実行委員会（（株）白沢振興公社）	秋の味覚のPRと、消費者に感謝の気持ちを込めて特価販売を行う。	秋の行楽シーズンに開催し、晴天にも恵まれたため、大盛況であった。出展協力者のテント販売も盛況で、イベントしては成功であったと思う。芝生広場が活用出来なかったので、利用方法について検討したい。	市と協力することで幅広い情報の発信（地元紙や地元FM局などの協力を得られた）が出来、大変多くのお客様に同イベントを楽しんでいただくことが出来た。メインとなる農産物の販売はもとより、野菜詰め放題（売上金を地域の社会福祉協議会へ募金）や地産きのこ各種を使ったキノコ汁の無料配布、地域の特産品を扱った屋台販売なども大勢のお客様が列を作り、前年を超える結果を残せた。
46	観光交流課	白沢高原りんご＆ぶどう祭り	実行委員会・協議会	白沢高原りんご＆ぶどう祭り実行委員会（白沢りんご研究会）	秋の味覚のPRと、お客様参加型イベントによる交流	昨年の反省点を踏まえオープニングセレモニーの実施方法を見直した結果、運営がスムーズに出来た。晴天に恵まれたためイベントも盛況で、お客様参加型イベントも大変好評だった。また、試食により即売も盛況で、イベントの目的は達成できたと思う。 （改善点など）屋外のイベントで天候に左右されるため、荒天時の対応を予め決めておいた。	開会行事も含めてイベント進行がスムーズに出来た。
47	都市計画課	公園管理事業	事業協力・協定	薄根町区長外12団体	公園の維持管理を地元住民との協定により実施し、利活用を図る。	公園運営委員等の高齢化が進み世代交代が急務な団体も存在する。	地域で公園の企画運営をする事で、利用団体や利用時間等を適切に把握し効率的な公園管理が図れた。
48	都市計画課	市民緑化推進事業	補助・助成	ぬまた花の会ファミーユ外20団体	緑化推進事業に対する補助金の交付	広報等を通じ広く市民に周知しており、毎年新たな参加団体がある。	道路沿線等を緑化する事により、生活環境の向上が図られた。
49	街なか対策課	中心市街地活性化の会補助事業	補助・助成	沼田市中心市街地活性化の会	中心市街地の活性化を目指し、よりよいまちづくり実現に向けた事業への補助金交付	中心市街地活性化の基盤となるハード事業（土地区画整理事業）の建物移転等は徐々に進捗しているが、それ以外の部分の施策について、さらに協働パートナーと協議を進めていきたい。ほか、協働パートナー以外の関係者もさらに取り込み市民全体の課題として取り組むことができればと考える。 （改善点など）情報の共有により、年度末の真田丸展オープンに併せ、近隣のスペースで来街者をもてなすためのイベントを企画・開催することができた。	区画整理事業をベースにしているため、権利調整に時間がかかる事で、先行きが不透明や財政上の問題で会員に脱力感を感じられている方が多くなっている。2街区の残りと4街区の東地区を仮換地指定され、仮換地指定が約50%になり、他の街区でも権利調整の話し合いが活発化しているので、財政問題を解決して欲しい。まちづくりは永遠に続けるので、活性化は今行えること、実験してみることと、区画整理後の目標とを合わせて行う難しさがある。 （改善点など）まちづくりを進める上でハードとソフトは一体であり、ハードの区画整理の推進とソフト事業の出来るところから進めながら実績を挙げていく。一部専門家を国より派遣していただき、ハード・ソフトの両面を指導していただき個人の単なる再建でなく、街が必要としているものを今後まちづくり事業として導入して、市民から支持されるまちにしたい。

50	学校教育課	沼田市スポーツエキスパート活用事業	事業協力・協定	中学校運動部活動の外部指導者 （白沢中学校）	運動部活動の指導充実と地域社会の連携を促進するため、外部指導者を委嘱し、実技指導及び助言をいただく。	本事業は、地域の教育力を活用するという意味において、今後も市民の専門的な知識能力を活用することにより、学校側で必要としている人材の確保を図り、事業実施の拡大に努めていく必要があると思う。 地域に存在する指導者の発掘が重要である。 （改善点など）地域性を考慮した人選を行うようにした。（学校区内の人材活用）	・指導経験の無い教師が顧問になったことに対しての、保護者の不安が軽減された。 ・年間の回数については、実情に合わせ柔軟に対応していただけるとありがたい。 （予算立ての面で難しいと思いますが、回数をオーバーしてボランティアで指導していただいている実情がある） ・生徒に対する技術指導だけではなく、顧問教師に対しても指導方法等を伝授していただいている。
51	学校教育課	学校支援センター運営維持事業	事業協力・協定	各小中学校PTA役員、各種社会教育団体 （沼田小学校）	地域や学校実情に合わせ多様な学習を行うための外部講師や安全確保、教育環境の整備など、ボランティアの協力を得て実施する。	学校支援センターの機能を充実させるためのリーダーとなるコーディネーターの発掘と育成が必要となる。 学校地域支援本部事業が、国・県・市町村で１／３での補助事業に変更となったため、今後事業費の縮小が予想されるが、補助事業終了後においても、地域ボランティアと協働して事業実施が行えるような体制整備が必要となる。 平成２４年度より学校地域支援本部事業については、社会教育課を担当課として事業実施を行うこととした。 （改善点など）支援内容として、学校における授業（書写・家庭科等）の支援が増え、学校におけるボランティアの活躍の場が増した。	・現在のところ、読み聞かせやベルマーク整理、また授業協力などで円滑な協力体制ができている。今後も無理なく支援の範囲を広げていければと考えている。 ・ボランティアの役割、学校の役割をお互いに理解した協力体制を継続していきたい。
52	社会教育課	沼田市文化祭開催事業	委託	沼田市文化協会	市民の作品展示・舞台発表などにより、芸術文化の普及発展、意欲向上を図る。	特記事項はなし	特記事項はなし
53	社会教育課	家庭健全化運動推進モデル地区開催委託事業	委託	沼田地区青少年育成連絡協議会	情報交換会及び沼田地区上毛かるた大会の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
54	社会教育課	市民体力づくり歩け歩け運動大会委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	市民の体力向上と青少年の健全育成のための歩け歩け運動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
55	社会教育課	子ども会ボランティア活動開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	子ども会単位での清掃活動を中心としたボランティア活動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
56	社会教育課	青少年指導者会研修委託事業	委託	沼田市青少年指導者会	指導者会会員の資質及び技術の向上を図るための研修会の実施	後継者育成が、課題となっている。	・研修会の実施により、青少年健全育成事業等への支援がスムーズに行えた。 ・課題としては、若い後継者の育成
57	社会教育課	青少年育成推進員等研修会及び情報交換会委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年育成大会及び研修会	特記事項はなし	特記事項はなし
58	社会教育課	子ども会行事開催委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	かるた大会の開催により子ども会活動の活性化と会員相互の親睦を図る。	特記事項はなし	少子化の進行が、事業に及ぼす影響
59	社会教育課	初級指導者養成講座委託事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	青少年地域活動リーダーの養成講座の実施	出席率が良くないため、開催時期も含め検討が必要である。	特記事項はなし

60	社会教育課	沼田市成人式開催委託事業	委託	沼田市成人式実行委員会	成人を祝う式典の開催	特記事項はなし	特記事項はなし
61	社会教育課	青少年自然体験活動推進事業	委託	沼田市青少年育成連絡協議会	集団生活に耐えられる意志・体力を養うための野外体験活動の実施	特記事項はなし	特記事項はなし
62	社会教育課	茶会開催業務	事業協力・協定	沼田茶道会	旧土岐邸洋館において桜の時期の休日にお花見添え釜を開催	茶道各流派によって様々な趣向を凝らした茶会が開催できた。 桜の時期に重なっていること、また本年についてはNHK大河ドラマの影響もあり、来場者が多く大盛況であった。 文化財の利活用に関して、本事業が大きく貢献しているとともに、茶道の普及なども同時に行え、伝統文化の発展・向上に寄与している。 （改善点など）本年も、桜の開花時期と合わせて実施することができた。 老朽化していた施設見学路と生け垣も修繕が完了し、事業が実施できた。	NHK真田丸や桜の時期が重なったこともあり、例年にないほど、お客さんが来てくれ大盛況でした。トラブルもなく、無事終えることができほっとしています。今後も、市から宣伝をつづけていただき来場者が増えることを願っています。今後も長く続いていけばいいなと思っております。 本事業外ではありますが、沼田公園がとてもきれいに管理されており、桜の時期以外でも花などがとてもきれいなので、カフェなどあればより賑わうかと思います。 （改善点など）流派によって様々な趣向を凝らした茶会がスムーズに開催できました。 本事業は3日間、2週にわたり実施したため、桜の有無により来場者の差が生じるため、桜祭りにあわせた連続した3日間にて実施したい。
63	社会教育課	著者を囲む会	共催	沼田市読書ｸﾞﾙｰﾌﾟ連絡協議会	すぐれた文学作品をテキストとして、その著者と直接語り合う会の開催	参加者の増加を図りたい。	参加者の増加を図りたい。
64	社会教育課	読書研修会	事業協力・協定	沼田市読書ｸﾞﾙｰﾌﾟ連絡協議会	公開による読書会の開催	（改善点など）沼田市読書グループ連絡協議会については解散となったが、活動を続ける読書会が中心になって、事業開催が可能である。	昭和54年から30年以上に及ぶ読書研修会の開催は県下に例をみない。一冊の本を選定して読み語ることは、参加者にとって貴重な体験となるため、これからも長く続けていきたい。 （改善点など）沼田市読書グループ連絡協議会については解散となったが、活動を続ける読書会が中心になって、事業開催が可能である。
65	社会教育課	おはなしポケット	事業協力・協定	沼田読み聞かせの会	子どもを対象にした読み聞かせ	乳幼児期から学童期は子どもの情緒的・言語的発達において極めて重要な時期であるため、図書館での読み聞かせとともに、家庭における読み聞かせを始めるよい機会となればと考えている。	子どもの読書活動の推進と図書館利用の促進が図られている。
66	社会教育課	ブックスタート	事業協力・協定	ブックスタートボランティア （沼田読み聞かせの会）	赤ちゃんと保護者のふれあいを絵本を介して応援する。	平成18年からスタートしたブックスタートは9年が経過し、2人目、3人目というお母さんも多くなった。ブックスタート・パックの資料が子育てに役立ち、それを機会に読み聞かせを続けているお母さんの声から事業成果を実感できている。	赤ちゃんに会えるのがとてもうれしく、絵本を読んであげたときの赤ちゃんのかわいい反応をお母さんと一緒に楽しく体験しています。ブックスタートを通して、地域に子育てを応援する人がたくさんいることを知ってもらったり、赤ちゃんが参加できるさまざまな活動に出会ったりすることで、保護者が安心して子育てができるきっかけになると良いと思います。

67	社会教育課	市民ハイキング	事業協力・協定	沼田山岳会	参加者を募集し、関東甲信越静の山野においてハイキングを実施する。	毎年、定員となる参加者により盛大に事業を実施しているが、市民のニーズに応えるコース選定と安全の確保は、変わらぬ課題である。	毎年、多くの参加者により盛大に事業を実施している。市民のニーズに応えるコース選定と安全確保の両立が、常に課題である。
68	社会教育課	利南公民館まつり	共催	利南魁の会、利南地区内若妻会、利南地区老人クラブ連合会 （利南魁の会）	作品の出展、参加をとおして地区民の親睦と個々の資質の向上を図り、連帯感を深め、地域の発展に寄与する。	・地区内団体や公民館教養教室及び公民館を利用している自主サークルに作品展示と交流の場を提供している。 ・来館者の拡大により、公民館活動への理解と地区民相互の親睦を図りたい。 ・平成23年度から沼田市立利南幼稚園及び利南東幼稚園の園児の作品を出品してもらっており、幼児・児童を連れた家族連れの来館者が、少しずつ増加している。	・利南公民館まつりは、利南魁の会を中心とする地域女性による湯茶等の接待、バザー及び茶道による接待を行っています。出品された作品の魅力もさることながら「もてなす心」の出展が特徴となっており、地域の和を深める良い公民館まつりとなったと思います。
69	社会教育課	利南女性学級	実行委員会・協議会	利南魁の会	利南魁の会、地区内の女性を対象に、受講生の要望に添った内容の教室を運営委員会により計画し開催する。	・女性学級は利南魁の会が中心となって、教室の内容を検討し、実施している。そこに、一般参加者が受講する形で、教室を開催している。 ・学習の場を通して、参加者の交流や親睦を深め、一般参加者の拡大とともに、会員の拡大につながればと考えている。 ・体験実習的な教室のほかに、郷土を知る教室を加える等、女性学級の充実を図った。	・各種内容の教室・講座が、話し合いの中で決めていけることは、良いことだと思います。引き続き、地域の交流や連帯感を深める場として、魅力ある教室を開催していただけるようお願いします。 ・軽運動教室はとても楽しく、家でもできそうなのでやってみたい。 ・沼田市のごみの話で、意識が変わり、注意するようになった。 ・消費生活講座は、具体的な例を多く紹介してもらったので良かった。 ・人権講座では、講師の話を楽しく聞くことができ良かった。
70	社会教育課	利南若妻女性学級	実行委員会・協議会	利南地区内若妻会	若妻会会員、地区内の女性を対象に、受講生の要望に添った内容の教室を運営委員会により計画し開催する。	・教養教室の充実を図ると共に、受講生のニーズにあった・求められている教室を開催することができた。	・充実した内容の教室が、継続して行われますよう予算等は、前年程度は確保していただければと思います。 ・受講生の希望に添った教室が開催され良かったと思います。 ・美容・健康に関しての教室を次年度もぜひ。今回も参考になりました。
71	社会教育課	池田高齢者教室	実行委員会・協議会	池田地区老人クラブ連合会	運営委員会を組織し、年度当初に年間計画を作成し、池田地区在住の65歳以上の男女を対象に、年間8回の講座を実施している。	住民が参加したくなるような講座を、パートナーである「池田地区老人クラブ連合会運営委員」と知恵を出し合い考えている。運営委員会を開催し、ニーズに合った講座を開催出来るように努力している。	参加したくなるような講座等を、パートナーである市（公民館職員）と知恵を出し合い考えている。 運営委員会を組織し、ニーズに合った講座を開催出来るように努力している。
72	社会教育課	池田地区文化祭	共催	池田地区振興協議会、池田公民館各教養教室 （池田地区振興協議会）	文化祭の開催	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、一定の成果は得られたと思われる。また、作品を出展することにより、地域住民の生涯学習の意欲の向上が図られている。	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、一定の成果は得られたと思われる。また、作品を出展することにより、地域住民の生涯学習の意欲の向上が図られている。

73	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根高齢者教室 』	実行委員会・協議会	薄根地区老人クラブ連合会	薄根地区在住の高齢者を対象とした講座の開催	協働パートナーの会員が減少する中、前年度を上回る受講生に参加していただいた。更に多くの高齢者に参加していただけるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。 （改善点など）寒くなる時期に健康教室を取り入れるなど、受講生に関心のある講座内容とすることができた。	会員が減少する中、前年度を上回る受講生に参加していただいた。更に多くの高齢者に参加していただけるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。 （改善点など）寒くなる時期に健康教室を取り入れるなど、受講生に関心のある講座内容とすることができた。
74	社会教育課	薄根公民館生涯学習『薄根女性学級』	実行委員会・協議会	沼田市薄根婦人会	薄根地区在住の女性を対象とした講座の開催	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講したくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。 （改善点など）協働パートナーの意見を反映した講座内容とすることができた。	一定の成果は得られたと思われるが、更に多くの女性が受講したくなるような魅力ある講座内容の検討を行いたい。
75	社会教育課	薄根公民館まつり	共催	薄根地区振興協議会ほか （薄根地区振興協議会）	公民館まつりの開催	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、盛大に開催されており、一定の成果は得られたと思われる。	園児から高齢者まで多くの作品が出展され、盛大に開催されており、一定の成果は得られたと思われる。
76	社会教育課	川田地区民展	実行委員会・協議会	川田地区振興協議会、川田地区青少年育成連絡協議会ほか （川田地区振興協議会）	川田地区民が制作した作品展示と表彰式の開催	地区民や教養教室生から多数の作品が出品され、相互の親睦が図られた。 保育園児、小・中学生の作品については、審査と表彰を行うことで子どもたちの創作意欲の向上が図られ、成果を上げている。	JA協賛イベント、フラワーアレンジメント体験教室、ボランティアによる接待など、多大な協力をいただき盛大に開催することができた。
77	社会教育課	エコ・プロジェクトinかわだ	共催	利根実業高等学校、川田保育園、川田簡易郵便局 （川田保育園）	緑のカーテンづくり	ゴーヤの植え付け作業を通じて、保育園児と利根実生のふれあい・交流が図られた。 複数の施設で実施したことにより、事業の趣旨を広く周知することができた。	ゴーヤの植え付け作業を通じて、保育園児が利根実生とふれあうことができた。 植物の栽培体験や、ゴーヤのおやつの試食により食育を行うことができた。
78	社会教育課	白沢町高齢者教室	事業協力・協定	白沢町燦々会	講座の計画立案、受講生の募集、年8回の講座開催	運営委員会において年間の活動を決定。運営委員からの積極的な意見や希望を取り入れ教室に反映することができた。参加者は多く、また出席率も高いことから事業効果を高めている。	毎年実施していることから、地域に根付いた事業として定着しており、高齢者の学習機会の創出につながっている。 運営委員会では、積極的な意見もあり、要望にあった幅広い計画・活動ができた。
79	社会教育課	白沢町文化祭	共催	沼田市文化協会白沢支部	文化祭の開催（計画立案含む）。	継続的に出品している参加者も多く、町民の文化向上に寄与している。地域に根付いた事業であることから、今後も継続して行くことが望ましい。 （改善点など）作品数、参加者の利便性、展示作業の簡素化を考慮し、開催会場を公民館に変更。これにより、効率的に事業を実施できた。	毎年実施しており、地域に根付いた事業として定着している。 （改善点など）開催会場を変更したが、事前の打ち合わせ等により、特に問題もなく展示等もスムーズであった。
80	体育課	体力テスト等開催事業	事業協力・協定	沼田市スポーツ推進委員会	新体力テスト、ニュースポーツ体験及び講習会等により、健康の保持増進活動の場を提供する。	何年も続けて参加している人にニュースポーツ体験等を楽しんでもらうため、新たな種目を取り入れるなど事業内容を検討する必要がある。 （改善点など）参加者募集のPRに工夫を行ったため、予想以上に多くの来場者があり、新体力テスト及びニュースポーツ体験をしていただくことができた。	何年も続けて参加している人にニュースポーツ体験等を楽しんでもらうため、新たな種目を取り入れるなど事業内容を検討する必要がある。 （改善点など）参加者募集のPRに工夫を行ったため、予想以上に多くの来場者があり、新体力テスト及びニュースポーツ体験をしていただくことができた。